

# 元気よく「やーっさー」

赤荻の盆綱



幼稚園児～小学生たちが元気よく綱を引く

わらで編んだ大綱を担いだ子どもたちが地区の家々を練り歩く盆の伝統行事「盆綱」が8月13日と15日、赤荻地区で行われました。のどかな田園風景の中をちよちんの明かりをゆらゆらと揺らしながら綱を引く様は、夏の風物詩として市内各地で見られたものですが、現在は少子化の影響などでだいぶ少なくなってきました。子どもたちは「やーっさい、やーっさい」と元気よく叫びながら、夜遅くまで綱を引いていました。



冷たい飲み物でしばしの休憩

下総ふるさとふれあい納涼まつり

## さまざまなイベントがめじろ押し

下総地区の夏の恒例行事「下総ふるさとふれあい納涼まつり」が8月16日、下総運動公園で開催されました。大勢の人出でにぎわう会場のメインステージでは、キャラクターショーや抽選会などのイベントがめじろ押し。立ち並ぶ露店での買い物や花火など、訪れた人たちは夏祭りならではの楽しみを満喫していました。



威勢よく打ち鳴らされる太鼓に合わせて

## 印旛沼自然観察会

## 豊かな水環境を実感



多様な生物が生息

身近な印旛沼の自然を屋形船で観察しようと8月19日、「印旛沼自然観察会」が行われました。これは毎年行われているイベントで、西印旛沼の佐倉ふるさと広場

(佐倉市)～北印旛沼の印旛沼漁業協同組合船着場(成田市)をおよそ1時間半で巡るといふもの。参加した26人は、講師の本橋さん(印旛沼環境基金主任研究員)の説明に熱心に耳を傾けながら、普段なかなか見ることのできない船上からの印旛沼の景色に見入っていました。



屋形船からの眺めは格別

## 龍正院四万八千日

## 滑川の夏を彩る伝統行事

「しまんほっせんじち四万八千日」は、毎年8月9日に滑川地区の龍正院(滑河観音)で行われている伝統行事。この日にお参りをすると、四万八千日お参りをしたのと同じ御利益があるといわれています。今年も境内にはたくさんの露店が出て、いつもは落ち着いたたたずまいの龍正院が、参拝に来た善男善女でにぎわっていました。



御利益を求めて来た人でにぎわう境内

## 親子市内施設見学会

## こんなところがあったんだ!



かっこいいカスタムカーに乗って

市民に市内の施設を紹介し、市政への理解を深めてもらおうと、広報課では「市内施設見学会」を実施しています。8月18日に行われた親子

市内施設見学会では、市議会議場、麻薬探知犬訓練センター(三里塚)、大栄公民館、日本自動車大学校(桜田)を見学。特に人気だったのが麻薬探知犬訓練センターや日本自動車大学校で、参加者たちは「麻薬探知犬に触れたり、学生たちが造ったカスタムカーに試乗したり、実際に体験できたのがよかった」と話していました。次回は10月21日(水)に開催します。(P16)

## 日独スポーツ少年団同時交流

## 言葉の壁を越えて

日本とドイツのスポーツ少年団同士の交流を図ろうと「日独スポーツ少年団同時交流」が行われ、ドイツ団が8月5日～10日、成田市を訪れました。これは国際経験豊かな指導者を育成するため、日独両国のスポーツ少年団のリーダーが互いに相手国を訪問し、各地でホームステイやスポーツ交流などを行う交流事業です。滞在中、フィットネスハウス・アリーナ(中台体育館)で行われた「お別れレクリエーション」では、市スポーツ少年団の子どもたちと剣道、卓球、バレー、ミニバスなどを楽しんだ後、ホストファミリーたちと会食をするなどし、交流を深めていました。



剣道で「サムライ魂」を体験